



ダッシュ

NPO法人目黒体育協会会報 発行編集／NPO法人目黒体育協会

発行日／平成24年2月1日

「みんなの体協 積極的に参加しよう」



会長 石塚 友宏

NPO目黒体育協会 会長あいさつ

新年あけましておめでとうございます。念頭にありご挨拶を申し上げます。

新春を迎え皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。本年も目黒体育協会をよろしくお願いいたします。

さて、本年はまた多忙な年を迎えることとなります。ここ数年、体育協会は指定管理者取得のための法人化を含む組織改革など体育協会の充実を目指しております。

一方、これまで目黒区が行ってきたスポーツ行政の一部を教育委員会から分離し、文化・スポーツ部を発足させ、地域に根ざしたスポーツ事業に取り組んでいるところですが、この四月から区民体育祭の事業を体育協会に委ねることとなり、体育祭の経費を補助金として体育協会に交付するものであります。私も協会はこれを真摯に受け止めて、その事業を執行していかねばなりません。

体育協会には大きな負担となりますが、また各連盟団体にとっても大変厳しい対応が必要とされます。これからは体育協会自立発展のため、協会独自の事業をして、皆さんと共に頑張っていかなければなりません。加盟団体の一層のご協力をお願い申し上げます。



目黒区長 青木 英二

目黒区長あいさつ

新春を迎え、目黒体育協会並びに会員の皆様方に、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、東日本大震災により沈みがちだった人々に、スポーツは勇気や希望を与えてくれました。なでしこジャパンの劇的な勝利や多くのアスリートによる復興支援活動等は、日本中が感動し元氣付けられました。目黒区では目黒体育協会や同加盟団体から多くの義援金が寄せられ、また、復興支援を冠にしたスポーツ行事も開催されました。絆ということを改めて実感できた年でした。

こうしたスポーツのもつ大きな力や多様な意義・効果を区政全般に幅広く浸透させ、活力あふれる目黒を実現していきたいと思っています。そのためには、皆様のお力添えが不可欠です。今後とも良きパートナーとして手を携えて目黒区のスポーツ振興に努めていく所存です。引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、目黒体育協会のますますの発展と皆様のご健勝を祈念して、年頭のご挨拶いたします。

目黒区体育施設5館長 あいさつ

目黒区立中央体育館・砧野球場サッカー場

館長 安藤 嘉昭



明けましておめでとうございます。NPO目黒体育協会の会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

昨年中は当館の一般公開事業を初め各教室の運営にご協力を賜わり、厚くお礼を申し上げますと共に、年間を通じまして利用者の方々にもご満足を頂ける体育館の運営が出来ました事に対しまして、心よりお礼を申し上げます。さて、昨年三月十一日の未曾有の大震災による災害とその後の放射能に対する更なる不安が続いておりますが、罹災された方々に対しまして心よりお悔やみを申し上げますと共に、当体育館では恒例となりました「初春！館まつり」を震災復興応援一助にと「震災復興応援館まつり」とし、東北の食材を使った「お雑煮」と「お汁粉」をご来館の皆さまにお召し上がり頂き、「義援金」へのご協力もお願いするなどの応援企画を計画しております。ぜひ、貴協会の皆さまおかれましては「応援団」に加わって頂き、初春の「館まつり」を盛り上げて頂きますようお願い申し上げます。

最後に、当館への貴協会の皆さま方の昨年同様のご協力、ご支援を心よりお願い申し上げます、本年の貴協会加盟団体及び会員の皆さま方の一層の発展とご活躍、ご健勝を心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十四年一月一日

目黒区立碑文谷体育館 NPOスポーツ目黒理事

館長 長谷川 佳文



年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年3月の震災以来、未だご不自由な日々を送られている方も多いと存じます。一日も早く生活が回復され、明るい年となりますよう祈念いたします。

また、日頃より体育館運営事業等におきまして、NPO法人目黒体育協会関係者の方々には、ひとかたならぬご尽力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。碑文谷体育館の指定管理委託を受け四年が経過しようとしております。手探りからのスタートでしたが、施設の中で活動されている区民の皆様や、子ども達の元気な声を支えに五年目の今年も、施設を有意義にご利用いきただけるよう職員一同邁進して参る所存にございます。多くの方が笑顔になれますように、区民の健康作りのお手伝いをさせていただきます。区立体育館として指定管理者スポーツ目黒はホスピタリティを持ってご利用者をお迎えし、「心からのおもてなし」「思いやり」を忘れず、スポーツで素敵な仲間をつなぐ場所づくりをテーマにします。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。
新年は一月五日よりオープンいたします。

目黒区立区民センター体育館

館長 長原 克幸



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、東日本大震災という、大変心痛む災害がありました。震災地の日でも早い復旧を、体育館スタッフ一同、心より願っております。

また、当体育館のご利用者様には、夏・冬の節電対策にご理解とご協力を頂いたこと、ここに改めて感謝申し上げます。さて、区民センター体育館は本年で指定管理者施設として五年目を迎えることとなりました。お蔭様を持ちまして、毎年ご利用頂く方々も順調に増加し、皆様方の、健康維持、健康増進に貢献することができ、大変うれしく思っております。当体育館は「安心・安全」をモットーに、身近で明るく楽しい施設運営を心がけておりますが、まだまだ至らぬことも事も多くあるかと存じます。本年も、ご利用者お一人一人のお声を大切にし、目黒区を代表する体育館として、スタッフ一同感謝の気持ちを忘れずに心込めて対応させて頂きましますので、今後ともご愛顧頂きますようお願い申し上げます。

目黒区立駒場体育館

館長 久賀 利清



年頭にあたりご挨拶を申し上げます。
昨年は震災による休場や節電対応等について、ご利用者の皆さまにはご理解とご協力、誠にありがとうございました。

目黒区の体育施設指定管理者制度導入から、早くも今年で五年目の年を迎えました。地域体育館の活性化をどう実現していくかとして、我々は老若男女誰もが気兼ねなくいつでも利用できる体育館、そしていつも皆さまの傍らにある体育館を目標としてまいりました。今年は節目の年としてももう一度初心を思い返しながら運営していきたいと考えています。

駒場体育館は昨年で開館から二十五年を迎えました。施設的には老朽化は否めませんが、都会にありながら隣接する駒場野公園の四季折々、自然の風景を楽しむながら運動を楽しめる体育館です。今年はぜひ一度、駒場体育館に足を向けてみて下さい。スタッフ一同、皆さまの健康づくりに貢献できますよう安全運営を第一に、今年一年頑張つてまいります。

目黒区立八雲体育館

館長 恩田 康弘



新年、おめでとうございます。
区民の皆様ならびに目黒体育協会、各協会・連盟の方々には、指定管理事業にご理解とご協力をいただき、感謝を申し上げます。

八雲体育館では指定管理者としてスタート以来、スポーツ習慣の少ない方から愛好家の方まで、多くの方々からスポーツに親しみ、楽しんでいただくことを目指して、競技スポーツ及びフィットネス系プログラム、子どもや高齢者を対象としたイベントなどを行ない、スポーツ活動の機会の提供に努めてまいりました。

本年は指定管理者として五年目を迎えます。これまでの事業の充実および新たな事業を試みるとともに、公共施設として地域の方々と一緒に地域課題や事業に取り組み、地域活動の一助となるように尽力してまいります。

目黒区のスポーツ振興の一翼を担い、区民の皆様がスポーツを通じて健康で充実した日々を送れるように邁進する所存です。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

石塚友宏会長文部科学大臣表彰

NPO法人目黒体育協会の石塚友宏会長が永年に亘る目黒体育協会の充実・発展の尽力した功績が認められ、平成二十三年文部科学大臣スポーツ功労者表彰を受賞しました。

目黒体育協会はこの栄誉を会員及び関係者と祝福するため、二月二十五日（土）祝賀会を開催します。

【今回評価された功績】

昭和三十六年から相撲連盟の理事職を努めるなど、青少年の健全育成をめざし、特にわんぱく相撲東京大会には第一回から多くの選手を出場させ、優秀選手を大勢手がけてきた。団体三位、個人戦では近年、東京都第二位、第三位に入賞する、成績を残すなど、青少年の体力増進と相撲の発展に寄与した。

総合型スポーツクラブの設立活動を中心となつて行い、現『スポルテ目黒』の設立後も監事としてクラブの育成を行っている。

また、地域においてはニュースポーツの普及と技術指導を永年にわたって行っている

体協加盟団体紹介



目黒区水泳大会風景

●目黒区水泳連盟

昭和三十七年九月一六日目黒区立第五中学校で第一回目黒区民水泳大会が開催され運営には、教員がかなり係わっていました。昭和四十九年七月に区民センターの屋外プールができ、レジャープールながら区民の泳ぐ機会が得られ、これを機に連盟が発足しました。昭和五十九年に区民センターの屋内プールが完成し、年間を通して区民は水泳に親むることができました。以来体育祭春秋の大会は六月と九月の第一日曜日に、連盟独自の初泳ぎ記録会は一月第一日曜日に開催しています。水泳は、箱物が無いと実施できない競技故、教育委員会のご理解の下各地域に一つずつのプールができ、連盟は区民の皆泳のためにジュニアからシニアまでの教室指導に携わっております。今回の区政見直しで健康維持のために人気があったウォーキングがカットされたことは残念です。近年は故濱口前会長が大活躍していた日大プールでジュニア育成教室を通年開催しています。

(目黒区水泳連盟 理事長杉浦重子)



ビームライフル・デジタルピストル講習会

●目黒区ライフル射撃協会紹介 事務局植田

このたびの東北地方太平洋沖地震で亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆様に対しても心よりお見舞い申し上げます。

目黒区立中央体育館エアライフル射撃場をホームグラウンドに活動している目黒区ライフル射撃協会は所持許可書が不要なビームライフルや新しい射撃競技のデジタルピストルに力を入れています。双方とも国体の高校生正式種目になっております。ビームライフル・デジタルピストルは常時開催会場の岐阜、広島、目黒区立中央体育館の三会場で体験が出来ます。とりわけ中央体育館では七月に開催される全国規模の全日本選手権大会は北海道、関西、沖縄からも参加者があり全国的に注目される大会になっています。都民体育大会団体戦では優勝（四年ぶり二回目、過去十年間で入賞を逃した大会は一回のみ）をする事ができ、二〇一三年に開催される東京国体を目標に会員、役員一同がんばっています。

●東京国体のデモスポとして

平成二十五年、東京都国民体育大会において目黒区で唯一ミニバレーをデモンストラーションスポーツとして選出していたきました。

これは、ミニバレーが「生涯スポーツ」として、小学生から大人・おじいちゃんおばあちゃんが一緒になって行えるスポーツであり、怪我が少なく、みんなで楽しめるスポーツであることが、認められたのだと思っています。

ミニバレーの誕生は、今から四十年前一九七二年、北海道大樹町から生まれました。そして東京には一九九二年頃目黒区周辺で活動が始まり、本年は、二十周年目を迎える節目の年となります。ニュースポーツの分野でここまで継続して活動することが出来たのも、ひとえに区民の皆様の暖かいご協力とご尽力によるものと感謝しております。

ミニバレー協会では、ホームページを開設し、最新の活動内容を配信しております。是非、下記アドレスを参照して頂き、ミニバレーの一部を知って頂けたら幸いです。

東京協会HP: <http://www.mmeguro.com/>

ミニバレー協会 柳澤喜則



ミニバレー大会風景